みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校　令和８年１０月３０日

立石中学校だより

校長　野中文明　　第１１号



【学教育目標】郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成

【重点目標】自分の考えや意見を分かりやすく伝える　【合言葉】思ったことを伝え合う教室に

立石中だからこそ出来る事がある！それは自分達を活かすことにつながるものです！

市郡合同文化発表会での立石中の合唱…最高でした！

１０月２２日（木）に小郡市文化会館で市郡合同文化発表会が開催されました。これは市郡内６つの中学校が、お互いの文化の交流及び発展のために、それぞれの学校の文化発表会で展示した作品を持ち寄り鑑賞したり、合唱を発表したりするもので、毎年開催されています。特に合唱については、各学校の合唱コンクールで最優秀賞を取ったクラスのみが参加することができます。学校ごとに順に大ホールのステージに上がって歌ったのですが、「いやぁ、立石中は素晴らしかった」です！中学生の合唱というと、“定番”のスタイルがあるのですが、立石中の場合はどこの学校とも違うスタイルで立石中だけの世界を創っていました。メッセージ性もあり、他校の中学生も魅了されて「ぐっ」と引き込まれていました。あのステージを見ると、表現の仕方は自由だし、自分を活かす方法はいくらでもあるのだという事に気づかされます。「学校対抗大声で歌う選手権」ならば、立石中の少人数は厳しいかもしれませんが、創造性が問われる合唱なら、立石中の少人数は「むしろ長所」です。しかも、一人ひとりの顔と声が観客席からはっきりと分かるだけではなく、人に頼ることなく自分の役割を発揮して、互いの個性が共鳴していることが伝わってきました。オリジナリティーは、これからの時代に大変価値あることです。「立石中は立石中！」これでいいのだと思いました。３年生の皆さん、素敵な合唱をありがとう。そして、１・２年生の皆さん、皆さんが毎日行っている学校での活動は胸を張っていいものです。

番外編「びっくりしました！」

実はこの日、私はとってもびっくりしたことがあります。何と３年生が自転車で学校を出発するときに、１年生が見送りに来ているではありませんか！こんなこと初めてです。素敵な瞬間でした。

先生方も頑張っています。立石小の先生方と授業について合同研修会を行いました！

２年生の皆さん、ご協力ありがとうございました。

１０月２９日（木）に立石小学校と立石中学校の先生方が全員集まり、小中合同の研修会を行いました。（研修会とは勉強会です。）私達も皆さんにより良い授業を行いたいと思い、いろいろと研究や工夫を行っています。この日の授業もその１つです。何といっても、私達にとって一番の研修の場は、皆さんと実際に行う授業です。皆さんの授業中の反応や発言、表情や理解度、実際の行動を振り返ることで、課題を見出し、改善し、また次の授業に臨む。その繰り返しで、少しでもいい授業をしたいと思い、毎時間の授業の準備を行っています。そして、自分の中だけで完結していては、自分が思っている範囲の中でしか成長することはできないので、自分以外の人間に授業を見てもらいフィードバックをもらいます。皆さんたちで例えれば、自己評価だけに頼るのではなく、班の人や学級の人に「今日の自分の行動はどうだった？」とか「自分の発言の内容や場面、使っている言葉はどうだった？」と自分以外の人間に評価してもらうという事です。他者からの評価は、時につらいこともありますが、何より「思い込み」や「自分ではできているつもり」に陥らないために必要なことです。今日の研修会で学んだことを、是非、皆さんに返したいと思います。２年生の皆さん、協力してもらってありがとうございました。





Compass　No.10

＝ 目標設定のスキル × 振り返りのスキル × 習慣化のスキル

主体的によい選択ができる　行動の質があがる　労力は最小、結果は最大

「振り返り」は、実は成長スピードを「爆上げする」重要なカギです！

私は、皆さんに主体的な人間になって欲しいと思っていますが、皆さん一人ひとりの「主体性」が育ったのかどうかを判断するとき、「主体性」ということを知識として知っているかどうかは、あまり問題ではありません。なぜなら主体性が身についたかどうかは、「①行動に現れる」もので「②行動で判断する」しかないからです。以下は、変容の順番です。

「行動が変わり始めた」＜「行動が変わり、継続している」＜「行動が習慣になっている」

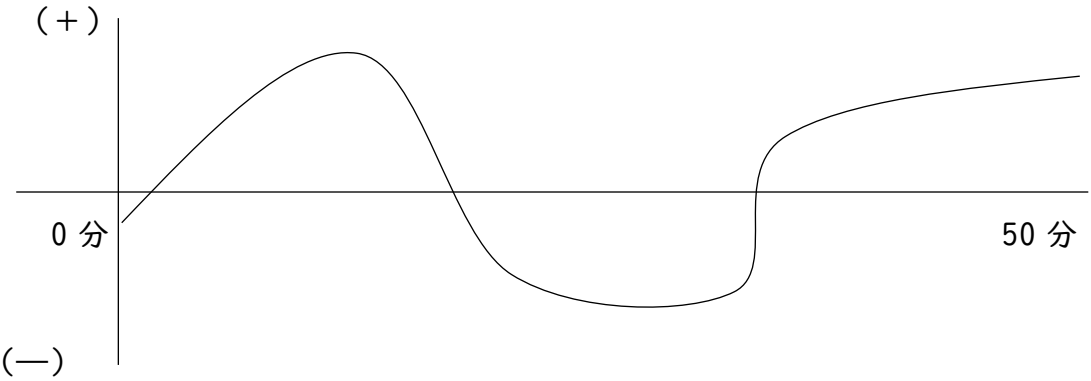
なお、主体性は皆さん自身が身につけるしかないので、「自分で身についたかどうか？」を自分で評価して、自分で修正していく力をつけることが、自分の成長に非常に役立ちます。その方法の１つが「振り返り」です。人は、特に何も意識しなくても経験を積めば、自然と出来ることが増えていきますが、「振り返り」をすることで、成長スピードが上がります。

では、何をどう振り返ったらいいのでしょう？振り返りは、行動の元になるものなので、次の３つの視点で行います。

① 感情…自分はその時に何を感じたのか？どんな感情がどの場面で動いたのか？
② 行動…自分はその時に何をしたのか？どのような行動を選択したのか？
③ 思考…自分がその行動を選択した時、何を考えたのか？なぜ、そう考えたのか？

この３つの中で最初に振り返ってほしいのは、「感情」です。なぜなら、感情は自分でも自覚しやすいし、感情が行動や思考を左右することがあるからです。ただ、感情を言葉で言語化することはなかなか難しいので、下のようなグラフに表すという方法もあります。そして、感情のグラフに沿って行動や思考を振り返ることができます。

例えば、ある１時間の授業を振り返って・・・

感情グラフ	
① 感情 ② 行動 ③ 思考	今日の前半は、最初の先生が出した問題がおもしろそうだと思ったのでやってみたら解くことができた。後半、問題のレベルが上がったら分からなくなってキツかった。自分では無理だと思ったので、班の人に聞いたら、解けるようになってめちゃくちゃ嬉しかった。今度は、もう一つレベルが上がった問題を出してほしいです。

これは、１時間単位（０分→５０分）の例ですが、１日単位（６時→２０時）のようにアレンジすることも出来ます。そして、自分の行動や考え方のクセをつかむことが出来るようになると、自分自身への理解が深くなり、付き合い方や改善ポイントが分かってきます。